

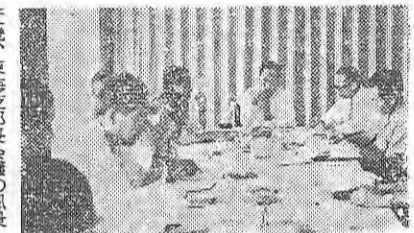
秋の修学旅行は九月の新学期と共に開始され、専用電車ひひの号が八月三十日品川駅を出発するのを皮切りとして、まもなく九月十一日大塚駅から、まほろば号が九月十四日神戸駅から夫々中学生を乗せて関西や関東方面へ向かっている。専用電車以外の修学旅行も九月下旬から小口団体の専用列車で、各地から出発するので、例年の如く秋の修学旅行のシーズンは九月下旬から十一月下旬頃まで続くわけである。

秋の修学旅行は全日本で延一、二一八本

秋の修学旅行は九月の新学期と共に開始され、専用電車ひひの号が八月三十日品川駅を出発するのを皮切りとして、まもなく九月十一日大塚駅から、まほろば号が九月十四日神戸駅から夫々中学生を乗せて関西や関東方面へ向かっている。専用電車以外の修学旅行も九月下旬から小口団体の専用列車で、各地から出発するので、例年の如く秋の修学旅行のシーズンは九月下旬から十一月下旬頃まで続くわけである。

近畿支部長会議開催

諸問題を協議 九月より活動開始



近畿支部長会議開催風景

修旅の体質改善を望む

昔のムードをふりかえつて

牛山 栄治

「東京で学び大阪で働き京都で晩年をおく」というのが、久しく日本人の思慕された生き方とされたが、この判断は現代人にはそのままだと受け入れられない。しかし、京都が静かなる都市であり、人文資源の豊富な観光都市であることは昔も今も変わりなく、それを正しく認識する学旅行地となつて居るが、京都を正しく観光する為には、この京都の特徴によくマッチした海苔かなムードで、時間をかけて行くことが要請である。今日のようなきまりきつたコースをバスにゆられ、サービス過剰のガイド嬢のおしやべりになやまされ通して、満員の観光客の中をぎんぎん歩いて帰るのでは、本場の京都の味はわらず

仕舞になつた。そこへいくと私の中学時代—それは大正天皇が即位の大札を挙げられた時が—その頃の修学旅行は本堂に快遊であった。生徒全員は六十人余り、四人の教師に引率され、京都だけを見学し三泊し、軽快な行程にペースよくバスはあつた電車などにも乗車しながら歩きまわつたものである。勿論当時も観光客の存在はたゞ、計画は各学校で自主的に立てたものであつて、この旅行の印象はいまも強く残つて居る。

一昨年の秋、教育事情悪化のため欧米をまわつて、イングリッシュのエッセンスを調べるセントラル女子近代学校を訪問した時のことである。その学校では毎月一回生徒が一人ずつ交代で書く、『学校の歴史』という冊子があつたので、何気なく開いて読んで見たところ、中にドイツへ修学旅行を行った際の記事が載つて居る。近頃はドイツは海を隔てた外国である。中学生の修学旅行が外国へ行つたこと一驚したが、考えて見ると、戦前の日本も中学校生徒の海外への修学旅行が行なわれていたものであつた。それが敗戦後国が狭くなつた後、海外への修学旅行が絶えてしまつたのである。

随筆 教養と品性 栗間 久

旅行が実現する前、是非考えておかねばならぬことがある。それはすなわち、世界に足を踏み出すことである。世界は広い。世界に足を踏み出すことは、自分自身を鍛錬することである。世界に足を踏み出すことは、自分自身を鍛錬することである。世界に足を踏み出すことは、自分自身を鍛錬することである。

世界に足を踏み出すことは、自分自身を鍛錬することである。世界に足を踏み出すことは、自分自身を鍛錬することである。世界に足を踏み出すことは、自分自身を鍛錬することである。

修旅の事前事後指導や経費 地理教育研究会第六回大会で発表

地理教育研究会第六回大会で発表

地理教育研究会(会長 五十村清一)の参加者を得て盛況に開かれた第六回大会が、去る八月二十三日、東京市立中央高等学校の講堂で開催された。第一日目は東京、北海道、東北、関東地区の各支部代表者による「地理教育の現状と課題」の講演があり、続いて「事前事後指導」の報告が行なわれた。



地理教育研究会の模様

修学旅行 一のご用命に— 営業所全国に120ヶ所 近畿日本ツーリスト 本社 東京都千代田区丸の内1の1 (国際観光会館内) TEL231-4131



全修協新刊案内 (お申込みは全修協事務局へ) 修学旅行読本 (写真地図) 関東の旅 多数挿入 著者 日本大学教授 牛山栄治氏 A5版 80頁 50円110円

原いさむ 休んでいる教師の頭の中を



京都路

修旅地を歩く(4)



木更町通りの高瀬川運河

京都の古い道路と家並み

仏具店

京都は寺の街といわれるほど、都心に大小の寺があるが、それに伴って仏具店が非常に多い。しかも京都の仏具店には、仏具法衣など専門店化している。

京都の町屋

開口がせまく低い一階建ての町屋が、黒漆色の格子戸、入口に紺のれんがけがある。写真は烏丸通りの医館で、入口ドアや外灯や一階の窓が近代化している。

千年の歴史を残す

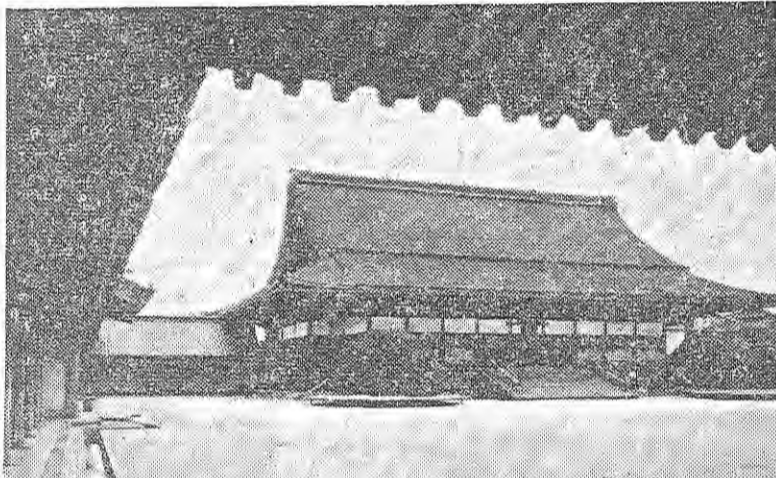
修学旅行地として最適の京都

京都は歴史の街 年間百二十万の修旅生

京都市は京都盆地の北西の三方を山で囲まれ、鴨川と桂川の間に発達した古都で、西暦七九四年から一八六八年の間は国の首都として政治や文化の中心地であった。約千年の間に幾多の戦乱で焼けたが、残存したものや再建された寺社や文化財が非常に多く、特に第二次世界大戦の影響から除外されたので、街全体が昔のままにそっくり残っている。京都が歴史の街といわれ、内外の観光客ばかりでなく、修学旅行地として全国の児童生徒が年間約百二十万を訪問する。なるほど、このように修学旅行地として最適の京都である。

多すぎる社寺や史跡

京都の修学旅行で引率教師を困難にするのは、史跡や社寺、古文化財の多過ぎることである。現在京都市内に本山や末寺を合せて千六百三寺あり、神社が二百五十三社もある。国宝の建築物が三六、彫刻が三、書画が八一、工芸が一四、絵画が四三、合計二〇〇で全国の五分の一以上の国宝が京都に残されている。その外、重要文化財や史跡名勝天然記念物、重要無形文化財などを合わせると、おびただしい数になる。



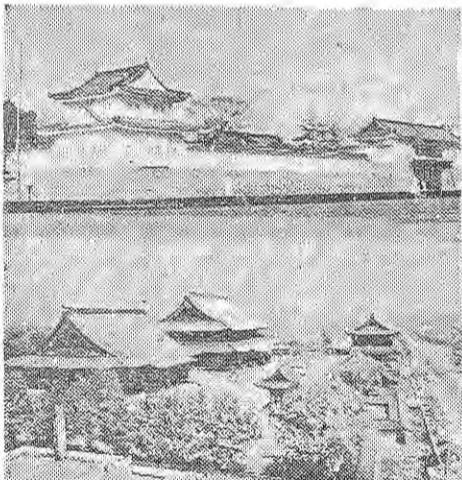
京都御所内の紫雲殿

日程の組み方に工夫

先づ修学旅行の年や学力に合わせた修学旅行の日程を組むべきである。小中学生は社寺を主体として見学させている学校が多いようだが、殆どの児童生徒は無理解のままソロソロ歩いて見物している。しかも、その時々の時々の特長を残した建築物や文化財の代表的なものを少くも選んで、事前指導した上で、ゆとりを持って見学させれば、児童生徒は理解できると思う。修学旅行だからといって、やらせで見学させている学校は多いが、これは引率教師の見学地の説明をガイドにまかせないで自分で解説することである。しかし多くの修学旅行では教師が児童や生徒と一緒にガイドの解説を聞いていくのが現状だ。これは引率教師が修学旅行を観光的なものではなくなり、シヨンのな学校行事として考え、教室の延長として考えていかなければならぬ。

市民生活の観察

次に京都の修学旅行で見物し易いものは、街の道路、家屋、人情である。



二条城 東本願寺



京都市の修学旅行一案 (1)

京都立候補 小沼常治

東京大学 京都府立大学

1. 京都駅 八時出発

京都市は京都盆地の北西の三方を山で囲まれ、鴨川と桂川の間に発達した古都で、西暦七九四年から一八六八年の間は国の首都として政治や文化の中心地であった。約千年の間に幾多の戦乱で焼けたが、残存したものや再建された寺社や文化財が非常に多く、特に第二次世界大戦の影響から除外されたので、街全体が昔のままにそっくり残っている。京都が歴史の街といわれ、内外の観光客ばかりでなく、修学旅行地として全国の児童生徒が年間約百二十万を訪問する。なるほど、このように修学旅行地として最適の京都である。

金閣寺

足利義満が三九七年に造営したもので、昭和二五年に焼失、三〇年に再建された。初層が乾造風、第二層が仏間風、第三層が禅宗の仏殿風で、王朝的と武家のを融合した建築である。

大原女

御所をめぐり、大原女(大原の三子)の腰もと、紺の木綿に白はきをつけ、髪を頭上へさきつけた典雅な姿が大原の三子や寂光院の里に伝わる。

二条城

家庭が一六〇三年(慶長八年)に造り家光が建増した桃山文化を継ぐ宮殿建築の規模を示すもので、江戸時代約二五〇年間徳川家の京都屋敷であった。二の丸御殿には狩野探幽などの漢絵その他がある。

東本願寺

京都御所の烏丸通りにあり、一六〇二年(慶長七年)本願寺の強大な勢力を誇った家康の分御殿として西本願寺から独立した。慶長十八年(明治二十八年竣工)は京都最大の建造物である。

これなしで 現代の地理教育は 語れない

日本文化地理大系

〔巻数及び刊行予定〕全18巻・隔月刊行
〔体裁〕B5大判・本文8ポイント二段組及び9ポイント二段組併用・平均384ページ・函入上製本・各巻に原色版24ページ・グラビア32ページ・多色刷大判地図2~4枚・大型写真500~600枚収載 特選アート紙使用・総クロス
〔定価〕各巻1,500円・全18巻一時125,500円(1冊分割引)

姉妹篇 図説日本文化史大系 全14巻 東京・神田 小学館

環境と近代設備を誇る
修学旅行のオアシス
宿泊料金
中学生 350円(2食) 1000名様の収容力
高校生 450円(〃) 新切、丁寧、清纯
一般 600円以上(〃) なサービス
来年度のご予約はお早くお申込みを
東京青年文化会館
東京都渋谷区千駄ヶ谷4の25 電話 東京 (401) 5111~5 (代々木駅) 徒歩3分